

10 家庭

学校番号

T3010

令和 3 年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	1 単位	年次	4 年次
使用教科書	高等学校 新版 家庭基礎 とともに生きる・持続可能な未来をつくる（第一学習社）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

- ・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	これからの生き方と家族	○青年期を生きる ・自分らしい人生とは ・青年期の課題 ・ワーク・ライフ・バランス ・男女の平等と相互の協力 ○家族・家庭と社会のかかわり ・家族とは？家庭とは？ ・家族・家庭の働き ・これからの生活をつくる ・家族に関する法律	○	○		○	a: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
6 7	次世代をはぐくむ	○子供の発達 ・次世代をはぐくむ ・命のはじまり ・子どもの体の発育・発達 ・子どもの心の発達 ・子どもと遊び ○親の役割 ・親と子の関係 ・乳幼児期の生活 ○子育て支援と福祉 ・子育て支援と地域社会のかかわり ・子どもの権利と福祉	○	○	○		a: 子どもの発達や親の役割について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達について、親と子や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもと適切に関わることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d: 子どもの発達と親の役割について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査
8 9	充実した生涯へ・ともに生きる	○高齢期を生きる ・高齢期をどう生きるか ・高齢期の生きがいと就労・社会参加 ・高齢者を知る ○高齢社会を支えあう ・高齢社会の現状と課題 ・高齢者やその家族の支援システム ・高齢者の尊厳を支える ○社会保障制度と福祉 ・社会保障制度と福祉 ・ともに生きる社会をめざして	○	○		○	a: 高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 高齢者と適切に関わることができ、高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d: 高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査

10	経済生活を営む	○私たちの暮らしと経済 ・経済生活の中身を知る ・家庭生活と社会とのかかわりを知る ・将来の経済生活を考える ○消費者問題を考える ・消費者問題はなぜ起こるのか ・契約トラブルとその対策 ・クレジット利用のリスク ・消費者の自立と行政の支援 ○持続可能な社会をめざして ・消費生活と環境問題 ・私たちに何ができるのか	○	○		○	a: 家庭の収入と支出をとおして家計の構造を意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 人や家族の生活目標を実現するため、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 消費生活に関する基礎的・基本的な技術や環境にやさしい消費行動を身に付けている。 d: 消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、持続可能な社会や消費者問題など、様々な問題を理解している。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
11			○	○	○	○		
12	生活をデザインしよう	○これからの生活を考える ○自分の一生を自分らしく生きるために	○	○	○	○	a: これからの生活について考え、自分のライフスタイルをイメージし、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 人生における課題やさまざまなリスクに対処して、判断する能力を身に付けている。 c: 人生におけるリスクに関する基礎的な対処技術を身に付けている。 d: 人の一生や家族・家庭などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
1								
2	生活の充実・向上をめざして	○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・ホームプロジェクトの実践例 ・学校家庭クラブ活動の実践例	○	○	○	○	a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b: 生活上の課題を見だし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c: 計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート 定期考査
3								

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ *は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。